YUASA REPORT 140

第140期

2018年4月 1 日から
2018年9月30日まで

100th
設立100年の感謝、ともに未来へ。

Growing Together
ともに挑む。

ユアサ商事株式会社

証券コード：8074

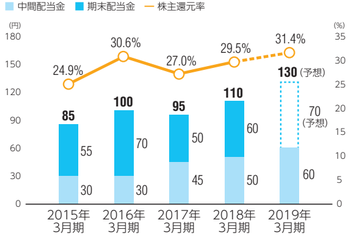
第2四半期決算ベースでは、営業利益、経常利益、純利益とも過去最高益を更新

代表取締役社長　田村博之

2019年3月期第2四半期　経営成績

売上高	226,319百万円 前年同四半期比 5.9%増
営業利益	5,238百万円 前年同四半期比 15.1%増
経常利益	5,715百万円 前年同四半期比 15.1%増
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,769百万円 前年同四半期比 8.0%増

1株当たり配当金と株主還元率の推移



株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

2019年3月期第2四半期の連結業績についてご報告申しあげます。

当社グループは、2026年（創業360周年）のあるべき姿として、業界トップレベルの収益構造を持つ複合専門商社グループに成長することを目指す「ユアサビジョン360」を策定し、その第1ステージとなる3カ年の中期経営計画「Growing Together 2020」に全社一丸となって取り組みました。

当第2四半期は、第1ステージの2年目として成長事業を軌道に乗せる重要な期と位置付け、電子商取引拡大に向けた新たなECサイト「Growing Navi」を5月に稼働させ、情報発信機能の強化によるトレードビジネスの拡大と業務の効率化に注力いたしました。また、「海外事業」では、海外現地資本企業への販売体制を整備・強化し、工作機械や建設機械の拡販に加えJCM（二国間クレジット制度）等を活用した省エネ支援事業を積極的に推進してまいりました。

さらに、「ロボ（AI）&IoT事業」においては、多関節ロボットを乗せた自動搬送車の提案や、次世代農業用ロボットの開発に参画するなど、当社がコーディネーターとなり商社の視点から新たな価値提案を行ってまいりました。「環境・エネルギーソリューション事業」や「レジリエンス&セキュリティ事業」においてエンジニアリングやソリューション機能の強化に注力いたしました。同時に、各部門の壁を超えて当社グループの総合力をワンストップで発揮できる環境づくりにも取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比5.9%増の2,263億19百万円となりました。利益面につきましては、営業利益が52億38百万円（前年同四半期比15.1%増）、経常利益は57億15百万円（前年同四半期比15.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億69百万円（前年同四半期比8.0%増）となりました。第2四半期決算ベースにおいては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益とも過去最高益となりました。

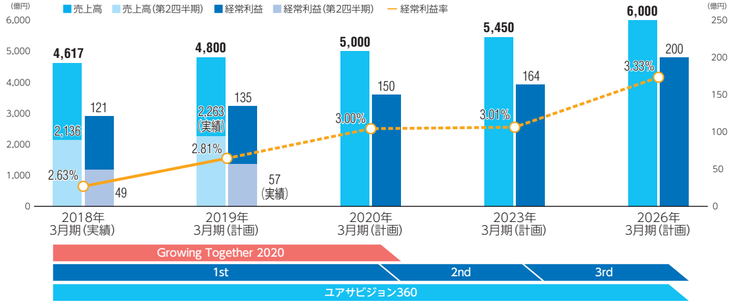
2019年3月期の中間配当金につきましては、期初の予想どおり1株当たり60円とさせていただきました。期末配当金につきましては1株当たり70円、中間配当金と合せて年間130円（株主還元率31.4%）を予定いたしております。継続的かつ安定的な配当実現に向け、全力で取り組む所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、何卒相変わりませぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申しあげます。

長期ビジョンと中期経営計画

「ユアサビジョン360」2026年（創業360周年）のビジョン

業界トップレベルの収益構造を持つ複合専門商社グループへの成長を目指します。



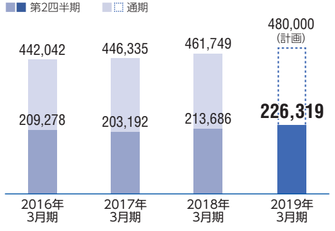
2019年3月期　業績予想

売上高	480,000百万円
営業利益	12,750百万円
経常利益	13,500百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	9,180百万円

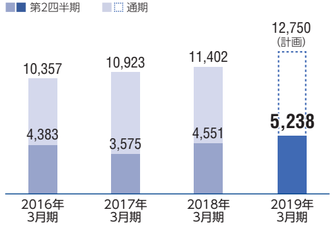
2019年3月期 第2四半期のポイント

売上高	国内外の緩やかな成長基調は継続しており工場分野における設備投資需要は好調に推移しました。住宅関連では新設住宅着工戸数などが減少しましたが、都市部を中心とした再開発事業や物流施設などの建設は底堅く推移しました。その結果、売上高は前年同四半期比 **5.9%増** の **2,263億19百万円** となりました。
配当金	1株当たり60円とさせていただきました。期末配当金につきましては1株当たり70円、中間配当と合わせて年間**130円**(株主還元率 **31.4%**)を予定しております。
自己資本比率	自己資本比率は、前期末の30.5%から1.7ポイントアップの **32.2%**となりました。

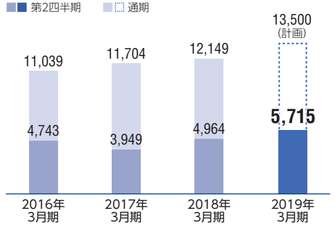
売上高



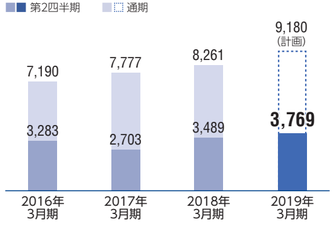
営業利益



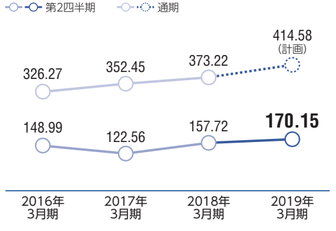
経常利益



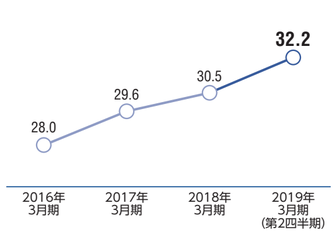
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



自己資本比率



くらし分野

住設・管材・空調部門

売上高 706億79百万円
前年同四半期比 4.3%増

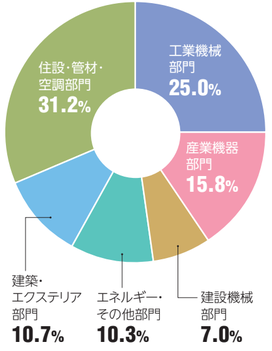
新設住宅着工戸数が弱含み、戸建住宅のリフォーム需要も伸び悩む中、非住宅分野の空調機器や管材商品の販売強化。太陽光パネル販売減少も蓄電池・パワコン・出力制御ユニット、自家消費型太陽光の拡販推進。

建築・エクステリア部門

売上高 241億70百万円
前年同四半期比 3.9%増

建設技能者不足、自然災害等により工期に一部遅れ。首都圏中心に商業・物流施設向けの景観エクステリア商材の需要と、再開発事業などビル・マンション・ホテル向け金属建材需要やインフラ関連需要が堅調に推移。

2019年3月期
第2四半期
売上高 2,263億19百万円



産業分野

工業機械部門

売上高 565億82百万円
前年同四半期比 11.6%増

国内は自動車・半導体関連産業中心に、ロボット、建機、医療分野の設備投資意欲が底堅く工作機械需要は好調に推移。海外では米中貿易摩擦が懸念されたが中国はじめアジア新興国の投資意欲は堅調に推移し、順調な受注状況が続き、国内外とも受注残高増加。

産業機器部門

売上高 357億20百万円
前年同四半期比 5.5%増

自動車・半導体関連産業中心に国内の工場稼働率は好調が維持され物流設備の高機能化が進み、切削工具、保持工具、測定器具、制御機器などに加えマテハン関連機器の需要も底堅く推移。また、今年5月に稼働したECサイト「Growing Navi」も売上増加に寄与。

エネルギー・その他部門

売上高 233億79百万円
前年同四半期比 6.8%増

エネルギー部門は元売り業者の再編の影響で石油価格が上昇。消費財は猛暑の影響で夏の季節商品が好調に推移。木材事業は海外の一部地域での自然災害等による納期遅延はあるが国内の合板需要は堅調に推移。

建設機械部門

売上高 157億87百万円
前年同四半期比 2.6%減

インフラ整備、災害復旧・復興工事等の公共工事や都市部を中心とした再開発事業により機械需要は伸長したが、災害等の影響により一部納期が第3四半期以降へずれ込む。

事業を通じた貢献活動による、社会的課題の解決

ユアサ商事は社会的な課題解決に向け、**5つ**の成長事業と**2つ**の新市場において、積極的な取り組みを行っています。

社会的な課題　安全・安心　労働人口の減少　高齢化　環境対策　災害・防災

成長事業

「海外事業」「ロボ（AI）&IoT事業」「新流通事業」「環境・エネルギーソリューション事業」「レジリエンス&セキュリティ事業」を成長市場と捉え、新たなイノベーションに挑戦してまいります。

海外事業

解決すべき課題

環境問題、生産現場の効率化・安全対策や成長著しい都市のインフラ整備は世界共通の課題です。これらの課題解決を中国はじめ東南アジア・北米でも積極的に展開しています。

ロボ(AI)&IoT事業

解決すべき課題

就業者人口の減少や働き方改革実現に向けて自動化、省人化を提案しています。

・自動化ライン設備　・追従型ロボット
・自動搬送＋多関節ロボットの提案

環境・エネルギーソリューション事業

解決すべき課題

地球環境に貢献する機器・システムを提案しています。

・太陽光パネル　・蓄電池　・パワコン　・エコキュート
・ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）
・ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）

新流通事業

解決すべき課題

IT活用による業務効率化を進めています。

・多様な検索方法と充実した商品ラインナップのECサイト「Growing Navi」
詳細はこちらからご覧いただけます。
⇒ https://www.growingnavi.com/

レジリエンス&セキュリティ事業

解決すべき課題

安全・安心な社会インフラ・生産現場を提案しています。

・災害対策の防災倉庫　・耐震診断から耐震リフォーム
・備蓄品　・ソーラー街路灯

新市場

農業分野

解決すべき課題

農業従事者の負担軽減と効率的な農業を提案しています。

・農地を利用したソーラーシェアリング
・多機能ロボット提案
・収納型コンベア　・ハウス内高所作業車
・パイプ台車　・ミニクレーン
・シャワートイレ付倉庫

介護・医療分野

解決すべき課題

高齢化社会の快適なくらしを提案しています。

・介護・医療施設への快適な空調設備
・負担軽減する介護用ロボット
（アシストスーツ、アシストウォーカー）
・介護用ベッド、家具、トイレ
・オルゴール

全国5会場にて62,000名様がご来場！
受注高1,318億円で目標達成!!

産業とくらしのグランドフェア2018を開催しました。

2018年7月から9月までの期間に関東、東北、九州、関西、中部の5会場において実施し、延べ62,000名を超える皆さまにご来場いただきました。
今回のグランドフェアのテーマは『Growing Together ～ともに新しい未来へ～』とし、産業とくらしに関する最新鋭の製品・システムをご紹介いたしました。

2018年テーマゾーン

最先端の技術を結集して課題解決を提案！

『Growing Together ～ともに新しい未来へ～』

テーマゾーンでは、「食品工場」「ものづくり」「農業関係」「介護・医療施設」「パブリック&コンストラクション」「住宅関係」「ソリューション」の7つの現場を再現いたしました。最先端の技術を結集して、産業とくらしが直面するさまざまな課題について、新たな提案を行いました。

環境

売電価格引下げに対応した蓄電と消費システム
EV活用した自家消費モデルの提案

安全

建設現場の安全確保
建設機械と作業員の接近を知らせ衝突防止

省人化

自動搬送車＋協働ロボットの提案
協働ロボットが工場内を移動し効率アップ

安心

ユニバーサルデザインゲート
バイク等の侵入を防ぎ安全な公園を実現

環 境

JCMの継続取組み

JCM※を活用して開発途上国の温室効果ガス削減に貢献しています。この制度において、当社グループが提案した東南アジアの製造工場向け省エネ設備のプロジェクト3件が採択されました。3物件合計で年間9,751トンのCO_2削減に貢献する見込みです。今後も同制度を活用した提案を進め、地球環境の改善に取り組んでまいります。

JCM
二国間クレジット制度（Joint Crediting Mechanism）。途上国への優れた低炭素技術・製品・システム等の導入を通じて、地球規模での温暖化対策に貢献するとともに、日本の排出量削減の目標達成に活用する制度。

ベトナム工場の事例

既存のチラーを高効率のターボ冷凍機を導入することにより消費電力量を削減
※チラー：産業機械等の温度を一定に保つ装置

社 会

地域の防災への取組み

①「倉庫 ＋ 太陽光パネル ＋ 蓄電」を提案
宮崎県日向市では南海トラフ巨大地震の津波被害に備え津波避難山を整備しました。その避難エリアに提案及び納入いたしました。

② 危険なブロック塀対策
老朽化や安全基準に満たないブロック塀を防音・目かくし機能を併せ持つ安全な塀への改修の提案をいたしました。

万年塀から防音目かくし塀への改修事例

改修前

改修後

働きやすい職場への取組み

①「健康宣言」制定
社員の安全と心身の健康維持・増進を目的に、以下のとおり「健康宣言」を制定いたしました。
1. すべての社員が安全で健康に、働きやすい職場環境を実現します。
2. 会社と健康保険組合が相互協力し、社員の心身の健康維持・増進に向けて取り組みます。
3. 社員一人ひとりが自らの健康に責任を持ち、心身の健康維持・増進に主体的に取り組むことを積極的に支援します。

② 育児中社員の支援
「育児休業中の一部有給化」や「育児短時間勤務の期間延長」など9項目の制度を新設・改定いたしました。

③ 女性社員の積極登用
一般職から総合職へ転換する制度を導入いたしました。今後も積極的に登用を進めてまいります。

④ 働き方改革
モバイルPC導入に向けて準備を進めております。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、会社概要や事業内容の基本情報をはじめ、IR情報やCSR情報といった様々な情報を公開しております。是非ご覧ください。

ユアサ商事　検索

トップページ　IRページ

個人向けIR実績と予定

2015年12月	野村IR資産運用フェア	ベルサール渋谷ガーデン
2016年12月	野村IR資産運用フェア	東京国際フォーラム
2017年12月	野村IR資産運用フェア	グランキューブ大阪
2018年9月	日経IR投資フェア	東京ビッグサイト
2019年2月(予定)	東証IRフェスタ	東京国際フォーラム

株主の皆様の疑問にお答えします！

当社は2015年より個人投資家様向けのIRフェアに継続的に出展しています。
以下のQ&Aは各IRフェアで多かったご質問にお答えしています。

Q 今後の配当の方針は?

A 2019年3月期の期末配当は70円を予定しており中間と合わせて年間で130円を予定しております。また2020年3月期は株主還元率33%以上を目標にしております。安定的な配当を目指しております。
※株主還元率＝（配当金＋自社株買い）÷純利益

Q 海外のネット販売大手が業績を伸ばしていますが影響はでていますか?

A 当社の取扱商品の中心は、生産財や建設資材で提案型の商品となっております。一方、ネット販売が拡大しておりますので、当社も一般の消費財を含めたECサイト「Growing Navi」を開設し対応しています。

Q 積極的に海外進出をしているようですが為替リスクや信用リスクはどう管理していますか?

A 為替リスクは売買契約時に為替予約し実質円ベースで利益を確保しております。また、海外企業との取引は従来の審査部門に加え、今年4月に海外戦略室を設置して与信管理を機動的かつ慎重に行っています。

会社概要

商　号	ユアサ商事株式会社 YUASA TRADING CO.,LTD.
本　社	東京都千代田区神田美土代町7番地
創　業	1666年（寛文6年）3月
設　立	1919年（大正8年）6月25日
資 本 金	20,644百万円
従業員数	2,107名（連結）986名（単体）

取締役及び監査役

代表取締役会長	佐藤　悦郎
代表取締役社長	田村　博之
専務取締役　経営管理部門統括 兼 地域・グループ担当 兼 輸出管理委員会委員長 兼 倫理・コンプライアンス委員会委員長 兼 内部統制委員会委員長	佐野木晴生
常務取締役 住環境マーケット事業本部長 兼 建設事業統括 兼 ユアサプライムス㈱代表取締役会長 兼 ユアサクオピス㈱代表取締役会長	田中　謙一
取締役 工業マーケット事業本部長 兼 海外事業推進担当 兼 ㈱国興代表取締役会長	髙知尾敏之
取締役 建設マーケット事業本部長	鈴木　道広
取締役 経営管理部門副統括 兼 総合企画部長 兼 営業支援室長 兼 ＩＴ基盤推進室長	高橋　宣善
取締役 東部住環境本部長 兼 建設事業統括補佐	広瀬　薫
社外取締役	前田　新造
社外取締役	灰本　栄三
監査役（常勤）	水町　一実
監査役（常勤）	古本　好之
社外監査役	鶴田　進
社外監査役	本田　光宏

（注）代表取締役会長及び社外取締役を除く取締役は執行役員を兼務しております。

国内ネットワーク

国内拠点

31拠点（8支社、12支店、11営業所）

主な国内関係会社

産業機器	株式会社国興
工業機械	ユアサテクノ株式会社
	ユアサプロマテック株式会社
住設・管材・空調	ユアサクオピス株式会社
	友工商事株式会社
	浦安工業株式会社
	株式会社マルボシ
	株式会社サンエイ
	フシマン商事株式会社
建築・エクステリア	東洋産業株式会社
建設機械	ユアサマクロス株式会社
エネルギー	ユアサ燃料株式会社
その他	ユアサプライムス株式会社
	ユアサ木材株式会社

海外ネットワーク

主な海外関係会社

湯浅商事(上海)有限公司	中国
深圳国孝貿易有限公司	中国
國孝(香港)有限公司	中国
YUASA TRADING（TAIWAN）CO.,LTD.	台湾
YUASA TRADING（THAILAND）CO.,LTD.	タイ
PT. YUASA SHOJI INDONESIA	インドネシア
YUASA MECHATRONICS（M）SDN. BHD.	マレーシア
YUASA TRADING（PHILIPPINES）INC.	フィリピン
YUASA TRADING VIETNAM CO.,LTD.	ベトナム
YUASA TRADING INDIA PRIVATE LIMITED	インド
YUASA-YI, INC.	米国
YUASA SHOJI MEXICO, S.A. DE C.V.	メキシコ

株式の状況

発行可能株式総数…… 40,000,000株
発行済株式総数…… 23,155,882株
（自己株式950,978株を含む）
株主数…… 7,861名

※単元株式数は100株であります。

大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ･サービス信託銀行㈱	2,579	11.61
日本マスタートラスト信託銀行㈱	1,065	4.79
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	856	3.85
ユアサ炭協持株会	745	3.35
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	650	2.92
西部ユアサやまずみ持株会	595	2.68
㈱三井住友銀行	594	2.67
東部ユアサやまずみ持株会	572	2.57
ダイキン工業㈱	452	2.03
ユアサ商事社員持株会	427	1.92

1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出し小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
3. 当社は自己株式950千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。
上記信託銀行持株数のうち、当該信託銀行の信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社　2,579千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社　1,065千株

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町1－1 電話　0120－232－711（通話料無料）
郵送先	〒137－8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.yuasa.co.jp/ir/index.html （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

ご注意

(1) 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

(2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

「東証IRフェスタ2019」出展のご案内

当社は、2019年2月22日（金）、2月23日（土）に東京国際フォーラムにて開催される、日本取引所グループ／東京証券取引所主催の「東証IRフェスタ2019」に出展いたします。期間中は、当社出展ブース内でのプレゼンテーションを実施いたします。皆さま、ぜひお立ち寄りください。

開催概要

日時	2019年2月22日（金）10:00～18:00 2019年2月23日（土）10:00～18:00
会場	東京国際フォーラム　B2F ホールE 〒100-0005　東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
TEL	03-5221-9000（代表）
主催	株式会社日本取引所グループ/株式会社東京証券取引所
出展社数	90社（見込み）
入場料	無料

アクセス

JR線	有楽町駅より徒歩1分 東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)
地下鉄	有楽町線：有楽町駅(B1F地下コンコースにて連絡) 日比谷線：銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分 千代田線：二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分 丸ノ内線：銀座駅より徒歩5分 銀座線：銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分 三田線：日比谷駅より徒歩5分

ユアサ商事株式会社
YUASA

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022915
www.fsc.org

Intertek
ISO14001:2004 認証取得

VEGETABLE OIL INK
この報告書は植物油インキを使用して印刷しています。